

枚方市立小・中学校の配置等の適正化について（将来における適正な配置等のあり方について）

審議会の答申（案）に対するアンケート実施結果について

枚方市立小・中学校の配置等の適正化について（将来における適正な配置等のあり方について）の審議会の答申（案）についてのアンケートについて、市民の皆様からのご意見をいただきありがとうございました。
お寄せいただきましたご意見等に対する結果について公表します。

1. 実施概要

意見募集期間	平成27年12月1日（火）から平成27年12月21日（月）
意見提出者数	183人
延べ意見件数	1225件
内、公表する意見件数	1225件
意見提出方法	意見回収箱 71人、市ホームページ（インターネットアンケートシステム）95人、電子メール 5人、FAX 11人、郵送 1人

※ 同趣旨のご意見が複数ありますので、取りまとめて公表します。

2. アンケート結果

NO	答申（案）該当部分			意見概要	件数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
1	2. 枚方市立小・中学校の現状	2	1	現状は理解できた。	10	—
2	2. 枚方市立小・中学校の現状	2	1	将来的な予測をしっかりと立てて街づくりや学校編成がされてきたのか。	2	教育委員会で回答
3	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	少子化のため適正化、学校統合は必要である。（仕方がない）	10	—
4	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	枚方市、樟葉周辺の開発を児童数の考慮に入れているのか。	1	住宅開発の情報や住宅開発の余地等を考慮しながら各学校の将来について予測しました。
5	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	枚方市は子育て支援を大きく推進してこなかったため、子供の減少は当然。	6	教育委員会で回答
6	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	児童・生徒数の推移は、すべて同じデータで統一しないと明確な比較ができない。	1	平成33年度までは、平成27年5月1日現在の幼児数・児童生徒数を基にしてより正確な推計を出しました。
7	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	「児童」には支援学級在籍児も含んでいるのか。	1	児童数には、支援学級在籍の児童数も含まれています。
8	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	支援在籍児も考慮した「現状」なのか、答申案から読み取れない。	1	本市立小・中学校の現状は、支援学級在籍児童及び生徒を含んだ現状を示しています。
9	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	かつても現状に基づき将来予測をしたが、どれほど正確だったのか。	1	教育委員会で回答
10	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	H35以降のデータは、この問題に利用するには粗すぎるのではないのか。	2	教育委員会で回答
11	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	市長は公約で「転出者を減らす」といったがどうなったか。	1	教育委員会で回答
12	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	人口減に対し、どんな対策をしてきたか。	6	教育委員会で回答
13	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	人口減について、市は積極的な対応策をとるべきだ。	3	教育委員会で回答
14	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	子どもの人数を増やすことや市への転入者を増やすことをまず考えるべき。〔魅力的な街づくり〕	4	教育委員会で回答
15	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	市長は、人口増のためにどんな施策を考えているのか。	1	教育委員会で回答
16	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	中長期的には、国の政策から児童数は増加すると思う。	1	教育委員会で回答
17	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	30年前に、今から30年後に8万2千人人口減になるという同じ予測をしていたか。	1	教育委員会で回答

N O	答申(案) 該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
18	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	平成55年の人口推移は、校区ごとではないので議論の論外。	1	平成35年度以降は、枚方市人口推計により、各小中学校区の児童・生徒数の推移を予測しています。
19	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	児童生徒数の推移は、どのように出したのか。	1	平成33年度までは平成27年5月1日現在の幼児数・児童生徒数を基にした推計により、平成35年度以降は枚方市人口推計により推移を予測しています。
20	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	減少する人口の大半は高齢者であると思われるが、それを考慮したうえでの児童生徒数減の予測なのか。	1	平成33年度までは平成27年5月1日現在の幼児数・児童生徒数を基にした推計により、平成35年度以降は枚方市の各年齢ごとの人口推計により児童生徒数の推移を予測しています。
21	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-1	1	小中学校を廃校にした場合としない場合の人口推計を出してほしい。	1	教育委員会で回答
22	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-2	1	生徒数が半減しているのに学校数が変わらないのは確かに無駄。	2	児童生徒の教育条件の改善を基本において、学校規模の適正化を考えています。
23	2. 枚方市立小・中学校の現状	2-2	1	小中学校を廃校にすると、若い世代の人口流出が起こる。	1	教育委員会で回答
24	3. 学校規模等における課題	3	2	学級数による適正化の前に、各学校の学力レベルやクラブ治安環境の整備等を向上させる適正化が必要。	6	教育委員会で回答
25	3. 学校規模等における課題	3	2	教育的な観点から問題の検討をしてください。	5	義務教育段階の学校は、児童生徒の能力を伸ばしつつ、社会的自立の基礎、国家・社会の形成者としての基本的資質を養うことが目的であるため、学校では単に教科等の知識等を習得させるだけではなく、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力等を育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要になります。そうした教育を十全に行うためには、一定規模の児童生徒集団が確保されていること等が望ましいものとされ、そのためには一定の学校規模を確保することが重要となります。本審議会では、このことを前提に審議を行いました。
26	3. 学校規模等における課題	3	2	適正な配置はどの目線でのあり方なのか？良好な教育環境とは？先生と生徒にとって、より良い教育環境を考えて頂きたいです。	1	望ましい教育環境として第3次答申において適正な学校規模を定めています。適正配置については、学校規模に加え、施設規模、通学区、小中連携、地域連携の5つの視点からの検討を行い適正な配置のあり方を提言しました。
27	3. 学校規模等における課題	3	2	子どもたちの未来のために、「配置の適正とは何か」を根本から考え直してほしい。	1	
28	3. 学校規模等における課題	3	2	適正な学校規模の基準の決め方や明確な根拠を示してほしい。	7	教育委員会で回答
29	3. 学校規模等における課題	3	2	人間関係が固定されないように、学年は複数学級あるほうが良い。	3	市立小・中学校の適正規模を18学級としています。また、ご意見のとおり、学校の現状を考慮し、適正な学校規模の範囲を小学校は12学級以上24学級以下としています。
30	3. 学校規模等における課題	3	2	障害を持っている児童の課題が考慮されていない。	1	学校統合にあたっては、保護者及び地域コミュニティ、学校、教育委員会等の代表者からなる「(仮称)統合協議会」を設置し、その中で、障害を持っている児童の課題や統合に関する諸課題について協議・検討を行います。
31	2. 枚方市立小・中学校の現状	3	2	メリット・デメリットが、学校や行政の視点からしかまとめられていない。もっと様々な視点から検討すべき。	1	審議会は、大学教授等の学識経験を有する者、PTA(小学校・中学校・幼稚園)や校区コミュニティの代表者等の市民団体又は関係団体を代表する者から構成しており、その多種多様なメンバーからメリット・デメリットを議論してきているため、様々な視点から検討していると考えています。
32	3. 学校規模等における課題	3	2	何か問題があった時に離すことができなかったり、気の合う友達を得る機会が限られたり、社会に出た時に必要な集団的なスキルを得ることができない等の課題があるので、統合して人数が増えることは望ましいことだと思います。	13	審議会としても、将来における児童・生徒数に加え、こうしたデメリットも重視した上で、統合を検討してまいりました。
33	3. 学校規模等における課題	3	2	「クラスの人数」を適正校の指標とし、1学級の児童数をより指導しやすい少人数学級にどの学年も近づけていくことが重要だと思います。	6	枚方市の学級編制の基準は1年生から4年生までが35人、5年生と6年生が40人となっています。
34	3. 学校規模等における課題	3	2	小規模、大規模、過密校のメリット、デメリットの議論をされていますが、生徒数によっては的を得ていないコメントも記載されており、意義をなしていないと感じます	1	教育委員会で回答
35	3. 学校規模等における課題	3	2	なぜ小規模校のみが学校への聞き取り調査対象となっており、大規模校や過密校の聞き取り調査がされていないのでしょうか。	1	教育委員会で回答
36	3. 学校規模等における課題	3	2	資料8・9について、学校聞き取り調査というのは誰(職員？保護者？)に聞き取りをしたのでしょうか。また、児童・生徒についてのメリット・デメリットと教職員にとってのメリット・デメリットを一緒にまとめるのではなく、別々に考え検討すべきだと思います。	1	教育委員会で回答
37	3. 学校規模等における課題	3	2	適正規模以下の少人数学級を解決していくことは一定わかりませんが、子どもの成長や教育にとって、問題があるデータなどあるのでしょうか？科学的なデータを示してください。	1	教育委員会で回答
38	3. 学校規模等における課題	3	2	学校の規模としては、記載されている内容が適正かもしれないと思いますが、少子化が打破されない現状がある中で、現状に合わせた適正学級数に変化させていくことも必要である。12学級以上という適正学級数については、今後の人口の推移を考えると、難しいのではないかと。	1	教育委員会で回答
39	3. 学校規模等における課題	3	2	第3次答申書等審議会の議論を知らない市民に提示するには、あまりにも不親切だという印象。	1	審議会は、平成26年7月17日より順次開催してきました。平成27年1月16日までの審議会の内容は公開してきましたが、以降は具体的な学校名を挙げて審議していくことにより、自由な発言に支障をきたす恐れがあったことから、枚方市附属機関条例第6条第1項第2号(公開することにより、公正かつ円滑な審査等が著しく阻害され、その目的を達成することができない会議は非公開とすることができる)に基づき、非公開としました。

N O	答申(案)該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
40	3. 学校規模等における課題	3	2	メリット・デメリットどちらが多いかを見て考えるのではなく、子どもたちにとって何が一番大切かを最優先に考えるべきだと思う。「影響の度合い」がなければメリット・デメリットをあげるだけではあまり意味がないと考える。	10	メリット・デメリットは子どもたちにとって何が一番大切かを優先に考えています。小規模校については、メリットとして「教職員の目が児童・生徒一人ひとりに行き渡り、きめ細やかな指導がしやすい」等を、デメリットとして「交友関係が限定されやすく、多様な考え方に触れる機会が少なくなりがちである。」等を挙げています。
41	3. 学校規模等における課題	3	2	課題はわかります。デメリットの解決策を市民の声を聞き、考えてほしい。	1	教育委員会で回答
42	3. 学校規模等における課題	3	2	「改定基本方針」における市立小・中学校の適正規模を18学級とすることについては、資料8及び資料9においてメリット・デメリットが記載されているが、デメリットのうち、「交友関係が限定されやすく…」の点を踏まえると、市立小・中学校の適正規模を18学級とすることはさておき、学年ごとの適正規模を定めなければ、学年ごとに人数の隔たりがあれば、18学級の規模を満たしているが、ある学年は1クラスしかないという状況になれば、上記のデメリットは解消されないのではないかと。	1	教育委員会で回答
43	3. 学校規模等における課題	3	2	『クラスの人数』、『運動場面積当たりの人口密度』『洪水時の浸水深さ(災害マップより)』等も指標として追加してください。理由:クラスの人数については上記のとおり。運動場面積当たりの人口密度は子ども達がのびのびと遊べる環境にあるか、保護者にとっては運動会などで場所取りしないといけないかどうか等の指標になります。運動場が児童数に対して狭小な小学校などは曜日によって使える学年を制限するような対策をしており、適正な環境とは言えません。(文部科学省の指標は1人/10m ² だが、これだとのびのびとは遊べない)また、枚方市の防災マップにある『洪水時の浸水深さ』も子ども達だけでなく地域住民にとっても重要な指標であり、洪水時に子供たちの命を守るか、1次避難所として使えるのかがわかります。統廃合を検討するのであれば必須の指標です。	1	今後の参考とさせていただきます。
44	3. 学校規模等における課題	3	2	小学校の適正規模は12学級以下となっていますが1学年1学級の場合は大きなデメリットはないと考えます。ただし、複式学級の場合は統合が必要と考えます。	1	1学年1学級の場合は、何か問題があった時(いじめ等)に離すことができなかったり、気の合う友達を得る機会に限られたり、社会に出た時に必要な集団的なスキルを得ることができない等のデメリットがあり、今回、「統合して人数が増えることは望ましいことだと思います。」という意見も多く寄せられています。
45	3. 学校規模等における課題	3	2	地域コミュニティ・周辺環境のメリット・デメリット、留守家庭児童会等についても記載すべき。	1	今後の参考とさせていただきます。
46	3. 学校規模等における課題	3	2	適正規模の範囲である小学校12学級、中学校9学級を1学級でも下回れば小規模校となり、学校統合を考える範囲に入る、という考え方が理解できません。現在小4までは35人学級ですが、伏見市長は35人学級を拡大するという公約を掲げていますし、国も動向でも、少人数学級をということになれば、たちまち学級数が増加することになります。出生数が増加するよう、国の対策も検討されているところで、H40以降の人口の将来推計など、まだ生まれてもない子どもの数のことですし、当然、幅をもって考えるべきだろうと思います。	1	枚方市の学級編制の基準は1年生から4年生までが35人、5年生と6年生が40人となっており、その基準で提言を行っています。
47	3. 学校規模等における課題	3	2	中学校9～24学級を適正規模とするのは非常識です。1学年8クラスは高校の規模です。これがまず解決すべき課題です。また、小学校で1学年1クラスはなぜ適正でないのかわかりません。(第3次答申を見てください。)	1	市立小・中学校の適正規模を18学級としています。また、学校の現状を考慮し、適正な学校規模の範囲を中学校は9学級以上24学級以下としています。小学校の適正規模は12学級以上としているのは、児童生徒が集団の中で一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校においては一定の集団規模が確保されることが望ましく、全学年でクラス替えが可能となる規模が必要であると考えています。
48	3. 学校規模等における課題	3	2	小規模校のメリット(学年全員が友達・目が行き届く・きめ細かい指導・落ち着いた教育による、小規模校の存続を。	39	児童生徒が集団の中で一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校においては一定の集団規模が確保されることが望ましく、全学年でクラス替えが可能となる規模が求められています。児童生徒の教育条件の改善の視点を中心にすえて、学校規模の適正化を提言しました。
49	3. 学校規模等における課題	3	2	少人数ほど目が届きやすく6学級の学校が困っているとは思えない。	2	小規模校には、確かにメリットもありますが、一方で、児童生徒が集団の中で一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校においては一定の集団規模が確保されていることが望ましいとされており、全学年でクラス替えが可能となる規模が求められています。
50	3. 学校規模等における課題	3	2	小学校の11学級が小規模校とは思えない。	1	クラス替えができない学年ができるということで課題があり、小規模校と考えています。
51	3. 学校規模等における課題	3	2	少人数ほど目が届きやすく6学級の学校が困っているとは思えない。	2	小規模校には、確かにメリットもありますが、一方で、児童生徒が集団の中で一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校においては一定の集団規模が確保されていることが望ましいとされており、全学年でクラス替えが可能となる規模が求められています。
52	4. 「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1	3	統合よりまず先に人気の校区には住宅・マンションを建てる、小規模校のいい所を伸ばす等他の方法を考えるべき。	2	教育委員会で回答
53	4. 「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1	3	不登校やいじめ対策にも効果があると文科省も認めているのに、少人数学級については議論がなされていないようですがどうしてでしょうか。	3	少人数学級については、今回の審議会の諮問事項となっていません。
54	4. 「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1	3	小規模校や大規模校・過密校の解消に取り組むことは大切。早く実行に移してほしい。	3	
55	4. 「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1	3	少子化のため、統合案はやむを得ない。	1	教育委員会で回答
56	4. 「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1	3	中宮北小に子どもが行っているが、人数が少なく面白くなさそう。少人数のため起こる問題もあった。	1	
57	4. 「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1	3	小規模校のデメリット解消よりも、大規模校、過密校のデメリット解消を優先的に解消すべきだと思います。	5	教育委員会で回答

N O	答申（案）該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
58	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1	3	小規模校に手をつける前に大規模校・過密校の改善に着手することが肝要だと思います。	1	大規模校は、全学的な少子化傾向により、将来的には適正規模の範囲内に向かうものと予測されることから、それまでの間は、学校の実情に応じた適切な支援策を講じる必要があると提言しました。
59	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1	3	小・中ともに大規模校がまったく検討対象校からはずれているのがよくないのではないのでしょうか。	1	
60	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	小中学校の統合や廃校の前に、校区の見直しを。	14	通学区域の変更による小規模校の解消方策についても検討していますが、少子化の進行により小規模校が増えていく現状では、通学区域の変更による解消方策では抜本的な解消方策とならないため、学校統合を基本方策としました。
61	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	小規模校の課題解決方法としては廃校ではなく、大規模校と同じ『通学区域の選択制』を基本方針としてください。	1	教育委員会で回答
62	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	児童生徒数の減少で、即統合は良作ではない。	21	児童生徒の教育条件の改善の視点を中心にすえて、学校規模の適正化に取り組んでいます。
63	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	将来の子供の数を基に適正化という発想は賛成できません。	1	学校規模の適正化は、飽くまでも児童生徒の教育条件の改善の観点を中心に据え実施するものです。
64	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	生徒数減、即ち経済的問題に置きかえるのは全く生徒を人間として見ない、非教育的な考えではありませんか。財政だけの理由で統廃合しないでほしい。	2	小規模校は、交友関係が限定されやすく、多様な考え方に触れる機会が少なくなりがちなど児童生徒に係る課題や学校運営上の課題などが指摘されており、教育環境の改善を中心に据え実施するものです。
65	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	少子化で効率の面から統廃合をすることに反対。	1	
66	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	少子化の流れの中で、どこまで統廃合を進めていこうとするのか疑問が残る。検討されていることは理解できるが、早急に対応し解決されなければ、よりよい教育ができないのであろうか。	1	少子化の伴う学校の適正配置について諮問を受けたもので、課題のある学校について提言を行っています。
67	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	子どもたちの遠距離通学の問題、地域で築かれてきた「文化」等の違いの問題を「枚方はひとつ」などと考えないで、特色ある現学校の教育をさらに発展させ、行政が支えていく方策を願います。	1	
68	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	小規模校の課題がわかりにくい。明確に記載が必要。	2	小規模校には、確かにメリットもありますが、一方で、児童生徒が集団の中で一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校においては一定の集団規模が確保されていることが望ましいとされており、全学年でクラス替えが可能となる規模が求められています。
69	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	西牧野小は、地域とのつながりを密にすることで小規模校のデメリットを補っている。	1	小規模校には、確かにメリットもありますが、一方で、児童生徒が集団の中で一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校においては一定の集団規模が確保されていることが望ましいとされており、全学年でクラス替えが可能となる規模が求められています。
70	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	意見も踏まえという点、ぜひとも意見をきいて頂きたいと思います。	1	教育委員会で回答
71	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	人数の少ない学校であるので、大人も子どもも顔見知りになるコミュニティが今の時代には絶対に必要。悪質な犯罪が増加している今だからこそ、子ども達を大人が守って行くべき。	1	教育委員会で回答
72	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	市の方針である若い世代の人口増を狙うのであれば、廃校にしないことを方針としてください。	1	教育委員会で回答
73	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	学校統廃合を課題解決方法にする場合は、統合のメリットと廃校のデメリットをよく考慮し市の方針と照らし合わせて市長および都市整備部、危機管理室の承認を受けることを前提としてください。	1	教育委員会で回答
74	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	枚方市独自の4年生まで35人学級は、非常にうれしい。35人学級を増やすと教室数はもっと必要になり、統合や大規模校を増やすことには矛盾を感じる。	1	枚方市の学級編制の基準は1年生から4年生までが35人、5年生と6年生が40人となっており、その基準で提言を行っています。
75	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	学校を廃校にして公費を削減することより、安心・安全な社会や少子高齢化対策が優先されると考えます。廃校となれば、若い世代が流出し、少子高齢化が進み、税収も減り、限界集落を増やし、何を目的で廃校としたのかわからなくなります。市の方針と矛盾しています。	1	今回の統合案を実施することでもって、若い世代の流出が起こるとは考えていません。
76	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	「新しい学校が子どもたちの夢や元気につながるよう…」とあるが、どうすればそのような学校が築けるのか具体的な見通しが答申案からは見えない。ビジョンを示してほしい。	2	統合にあたり設置する(仮称)統合協議会において、新しい学校を築く観点で協議を行ってほしいと考えています。
77	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	東海・東南海地震の発生が懸念される昨今、小学校が地域の防災拠点や一時避難場所になっていることも考慮すべきで、学童の人数だけではなく校区人口の多少も検討に入れることが大事である。	1	教育委員会で回答
78	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	学校・行政の視点が優先されていると感じるが、中心は児童生徒や保護者、子育て世代。	3	今回の答申は、児童生徒の教育条件の改善と学校規模の適正化を行うための、学校の適正配置についての答申となっています。
79	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	子どものことを第一に考え、教育を豊かにする方策をしっかりと考えてほしい。	4	そのための方策として提言しました。
80	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-1	3	教育現場や保護者・地域の方々の意見も踏まえ進めること。をしっかりと守って実行してください。	1	教育委員会で回答
81	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-2	3	大規模校は、学童運営にまで問題が出ているにもかかわらず、生徒数が減少するのを待つだけなのですか。(津田南小:8年後、枚方小:13年後、さだ中:8年後)	2	教育委員会で回答
82	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-1-2	3	大規模校は教育環境としては出来れば存続を避けた方が望ましく考えます。従って学校の実態を慎重に検討を重ね、その見込みによっては学区の一部変更等も積極的に検討すべきだと思う。	1	教育委員会で回答

N O	答申(案) 該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
83	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2	3	児童生徒数減による統廃合は自然の流れ。	1	教育委員会で回答
84	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2	3	国の福祉政策が老人偏重から子育て支援にシフトしてきていることや、地域コミュニティの防犯の観点からもコミュニティの弱体化をもたらす学区統合は、不相当である。	1	学校統合にあたっては、保護者及び地域コミュニティ、学校、教育委員会等の代表者からなる「(仮称)統合協議会」を設置し、統合に関する諸課題について協議・検討を行うことと提言しております。
85	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2	3	疑わしい数字によって導かれた「課題校」が検討対象にされたかと思ったら、次の段階ではいきなり「統合にあたっての留意事項」がまとめられ、統合が前提で検討されているのは大いに不満。	1	課題校とされた学校であっても、今後の児童生徒数の推移を見定めることと提言を行っています。
86	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2	3	親の立場からは、できるだけ統廃合してほしくない。	1	小規模校は、児童生徒にとって課題があることから提言をしております。
87	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2表1	4	今ある学校を閉鎖する必要はないと思う。	1	
88	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-1	3	子どもの増減で学校規模が変わるので、一律に小規模校を統廃合することに疑問。	2	小規模校には、確かにメリットもありますが、一方で、児童生徒が集団の中で一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校においては一定の集団規模が確保されていることが望ましいとされており、全学年でクラス替えが可能となる規模が求められています。
89	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-1-ア	4	また推計での予測では、実際の人数とかけ離れる可能性があるのではないかと？	1	平成33年度までの推計に関しましては、かけ離れることはないと考えています。しかし、それ以降は可能性はないといえません。そのため、今後、児童生徒数の推移を見定めることと提言をしています。
90	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-1-ア	4	統合による教職員減等で減少する教育予算や税負担を定量的に示す必要あり。	1	教育委員会で回答
91	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-1-イ	4	(2)①イについて、「新規住宅建設が将来的にも予定されていない」等、他人事のように思われる。枚方市として、人口減少は仕方ないと考えているのでしょうか。	1	提言は、平成33年度までは平成27年5月1日現在の幼児数・児童生徒数を基に、平成35年度以降は枚方市人口推計をもとにしています。それ以外の児童生徒数の増加要因として新規住宅建設などが考えられますので、そのような表現としています。
92	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-1-イ	4	将来的には、マンションなどが建って児童生徒数が増える学校もあると思う。	1	マンションの規模にもよりますが、大規模な開発があればクラスの増加が見込まれますが、今回の対象校とされた地域には、現在はそのような予定がありません。
93	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2	4	小学校の統廃合において、防災・福祉等、コミュニティ問題が重要。大変手薄である。	1	教育委員会で回答
94	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2	4	留意事項については、生徒、保護者、地域にとって非常に重要な事項であるため、例外なく順守すること	3	教育委員会で回答
95	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2	4	統廃合で学校は地域の施設でもあるので、地域の学校が減ることは問題。	1	教育委員会で回答
96	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2	4	校区を統合することで廃校となる学校の設備も、地域の重要な活動の場として活用されています。今後の運用方法にも十分検討してほしい。	1	
97	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア	4	「オープンな形で」すすめていくとあるが、審議会がオープンでないのはなぜか。	1	審議会では、学校統合の具体的な方策を審議するにあたり、自由、活発な議論を保障する観点から、第6回の審議会から非公開とすることを委員の総意により決定したものです。
98	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア	4	答申案が出て20日間で意見を求めることは、市民や保護者にオープンな形で意見を聞くことにならない。もっと時間をかけて市民に意見を聞くべき。	2	インターネットアンケートで設定いたしました、21日間という期間につきましては適切であると考えています。
99	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア	4	もっと時間をかけて広く市民の意見を聞いて検討すべき。意見募集期間が短すぎる。	12	
100	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア	4	学校統合は大きな問題なので、答申案についてもっと幅広く意見を聞くように努力すべき。	1	答申(案)については、保護者や校区コミュニティの代表も含めた様々な専門分野から選出された委員により審議し、まとめたものです。また、アンケートについてもホームページを通じて実施しており、広く意見をお聞きしているものと考えています。
101	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア	4	統合にあたっての「協議会」など書いていますが、その前の段階での意見交流が必要であると考えます。審議会の討論を開示してください。そうでなければ、判断しかねます。	1	審議会では、学校統合の具体的な方策を審議するにあたり、自由、活発な議論を保障する観点から、第6回の審議会から非公開とすることを委員の総意により決定したものです。また、議事録については適切な時期に公表する予定です。
102	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア	4	オープンに進めるとあるが、知らない人沢山います。本当にオープンに進めるなら、広報ひらかたとかで発表し意見を募ってほしかったです。子どもたちの意見にも耳を傾けてください。実際に通うのは子どもたちです。	1	広報ひらかたや市のホームページ等を活用し、本答申案について意見募集を行っています。
103	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア	4	市報に大きく取り上げ、市民にもっとよく知らせるべき。	1	教育委員会で回答
104	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア	4	子どもたちの意見もしっかりと聞き取って、反映してください。子どもの気持ち、大切に考えてください。実際に学校へ行くのは子どもたちなんですから。	1	教育委員会で回答
105	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	学校統合の進め方(P4)に記載されている方法で進められていないのではないかと。	1	学校統合の進め方の記載内容は、教育委員会における今後の統合に関する進め方を提言しているものです。
106	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	アンケートの募集期間が短すぎる。もっと時間をかけて市民に意見を聞く。	2	インターネットアンケートで設定しました、21日間という期間については適切であると考えています。
107	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	広報への掲載方法が、どの学校が対象になっているか記載がなくわかりづらい。	11	

N O	答申（案）該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
108	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	「統合する3年前までを基本に…」の3年は短すぎる。もっと時間をかけて検討・論議を。	6	3年前までを基本にしています。また、当該学校の児童生徒や保護者、当該学校に関係する地域コミュニティなどへの十分な説明を行い、理解と協力を得ながら進めることとしています。
109	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	子育て世代の住民が、その土地を選ぶ際の重要な要素の一つが「学校選び」であります。「3年」が基本ではなく、「最低」でもと表記されるべきであり、現在の枚方市が、今後、生産人口を増やしていくうえで、どこに重点を置かれるかが、この準備期間の設定によって、市民・住民が判断することになります。より慎重に進められることを望む。	1	
110	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	学校ごとの適正化方策及び実施時期についての提言内容については、地元自治会・コミュニティ協議会・校区自主防災会・PTA等と十分コミュニケーションをとり3年程度の時間をかけてじっくり話し合う必要がある。拙速はだめ。初めに結論ありきもダメです。	1	
111	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	「統合する3年前までを基本に…」の3年の根拠は。2	1	学校統合にあたっては、当該学校の児童生徒や保護者、当該学校に関係する地域コミュニティなどへの十分な説明を行い、理解と協力を得ながら進めることとしており、十分な期間を確保する観点から、統合する3年前までを公表の基本としたものです。
112	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	統廃合となる校区については、越境入学等の方策についても対象自治会へ意見集約して頂きたい。当該意見集約により、想定される学校規模とならない場合には、そもそも委員会と関係者との間に大きな意識の隔たりがあり、今後の統廃合に大きな支障となると考えますので、ご配慮願います。	1	教育委員会で回答
113	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	審議会の1回目は昨年7月で、適正化の方策についての審議は今年に入ってから。意見を聞く「場」はどれくらい設けられたのでしょうか？	1	12月1日から12月21日にかけて、市民からの意見を募集しました。
114	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	一部の有識者や関係者の密室議論により決められることのないように望む。	1	教育委員会で回答
115	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	統廃合における予算要求のスケジュール、予算額を公表してほしい。	1	教育委員会で回答
116	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	十分な説明とは何をもち十分というのかわかりません。この意見募集のことも当該学校の保護者に話しても知らないという返答が多数でした。急に話が出てきた交北小学校に今後入るであろう世帯まで話が行っているとは思えませんが、これからどうされるのでしょうか！	1	教育委員会で回答
117	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	決まったことを決まると、早めに発表することだけで終わらないでください。今回の案のことも、知らない人沢山いました。本当にオープンに進めるなら、広報ひらかたとかで発表し意見を募ってほしかったです。子どもたちの意見にも耳を傾けてください。そして反映してください。	1	教育委員会で回答
118	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	統廃合には、膨大な課題解決・事前行為があり、現段階での意見集約が必要であると理解しますが、実際に当該事案に関係する保護者や自治会への周知意見集約がなされないまま方針決定されることのないよう切に願います。	1	教育委員会で回答
119	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	公開の説明会で直接、地域、児童、保護者、教員の意見を聞き、充分な話し合い、準備期間が必要であると思う。	4	教育委員会で回答
120	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	学校統廃合の進め方について、オープンにとありますが、決まったこと（決めたこと）を早めに知らせる、だけで終わらせないでください。	3	教育委員会で回答
121	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	統合が決定する前から積極的に公表や説明を行うべきでないでしょうか。実際今回の意見を聞いて頂けると知ったのは締切付近でした。	1	教育委員会で回答
122	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	b)において「十分な説明を行い…」とあるが、PTAから説明会の開催を要望したにもかかわらず、答申案等の資料を備え付けることで終えたのは、これに反する。「円滑な統合に向け、理解と協力を得ながら進める」としているのであれば、現時点で、十分な対応を始めなければ、保護者の間では不信感が強く、円滑な統合など到底無理である。	1	教育委員会で回答
123	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	このパブリックコメントのことは、自治会からのポストインで14日に知りました。既に締め切り1週間前です。このような大切な話は、まず近隣の住民に対して要望などの聞き取りや説明会があって進むものと、思っていたので、とても驚きました。これからのでも、きちんと話を聞かせて欲しいし、要望も伝えたい。市民との対話の上で、決断するようにして欲しい。	1	教育委員会で回答
124	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	留意事項の統合する3年前までを基本にとあるように、相当な時間が必要かと思う。今回答申案を決定した「審議会」のような閉ざされた会議体ではなく、今後はオープンな形で進める以上は、段階は踏むべきかと思えます。	1	教育委員会で回答
125	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	オープンな形で進めるといいながら、当該校区の幼稚園児・保育園児の家庭に連絡や説明がない。	5	教育委員会で回答
126	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	オープンな形で進めると銘打っておきながら、審議会の議事録が第6回から非公開であるのはなぜか。議事録を見ない限りはどのような経緯で適正化の案が出されたのかわからず、審議会自体が全く信用できない。	3	具体的な学校統合の方策を審議するにあたり、自由かつ活発な議論を確保する観点から、枚方市附属機関条例第6条第2項の規定に基づき非公開とすることを委員の総意により決定したもので、会議録についても同様に非公開としております。なお、会議録については、適切な時期に公開をします。
127	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-a	4	誰もが納得できるよう話し合い説明会は十二分にされるべきだ。	1	教育委員会で回答
128	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	市民が納得する説明会開催を。	3	教育委員会で回答
129	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	保護者や市民の意見を聞く場を、今作ってほしい。	1	教育委員会で回答

N O	答申（案）該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
130	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	住民への周知や意見の収集は十分にできるのでしょうか。	1	教育委員会で回答
131	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	対象となる校区での住民との対話会が必須。	2	教育委員会で回答
132	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	(1)の①に「子ども達の夢や元気につながるよう…教育現場や保護者・地域の方々の意見を踏まえながら…」とあるが、子ども達は嫌がっている子が大半、学校からの説明もなく、地域の方々が乳幼児を持つ方はこれから関係があるのかかわらず、全く知らぬまま、突然自分の学校が早期の対象となり、どんどん勝手に進んでいくことに、とても不安・違和感を感じる。	1	教育委員会で回答
133	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	留意事項にあるように、生徒、保護者、学校に関係する地域コミュニティなどへの十分な説明をしていただき、理解・協力が出来る状態をつくっていただきたいです。今回の統合の話はあまりにも突然で、今とても不安。	1	教育委員会で回答
134	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-c	4	決定する前に、もちろん統合する学校、特に統合される側の保護者との意見交換の場は必要です。決定報告だけだと、今後小学校生活を子どもがしている上で、保護者同士に溝ができる場合があると思います。地域の方、コミュニティーの方々同士も同じではないでしょうか。	1	教育委員会で回答
135	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	決定から統合までの期間は十分とってほしい。	1	学校統合にあたっては、保護者及び地域コミュニティ、学校、教育委員会等の代表者からなる「(仮称)統合協議会」を設置し、統合に関する諸課題について協議・検討を行うことと提言しており、その中で統合までの期間は決められるものと考えています。
136	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	会議録を適切な時期に公開とするとしているが、会議の非公開と議事録を作成しないことは、必ずしも連関するものではなく、これを現時点で非公開とすべき正当な理由がないのであれば、直ちに公表すべき	2	具体的な学校統合の方策を審議するにあたり、自由かつ活発な議論を確保する観点から、枚方市附属機関条例第6条第2項の規定に基づき非公開とすることを委員の総意により決定したもので、会議録についても同様に非公開としております。なお、会議録については、適切な時期に公開をします。
137	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	地域と学校が培ってきた歴史を大切に考えてほしい。	1	適正化方策については、地域連携として「ア.自治会等の区域」や「イ.学校の沿革」、「ウ.地域の歴史的な経緯について」の視点から検討を行っています。
138	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	地域(コミュニティ)の再編検討してください。	1	教育委員会で回答
139	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	それぞれの地域のコミュニティーの場になるよう取り組んでほしい。	1	教育委員会で回答
140	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	コミュニティの輪をつぶさないでほしい。2	1	適正化方策については、地域連携として「ア.自治会等の区域」や「イ.学校の沿革」、「ウ.地域の歴史的な経緯について」の視点から検討を行っています。
141	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	コミュニティは大きすぎではない。全体の把握も大変。	5	教育委員会で回答
142	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	統廃合による遠距離通学に伴う事故リスク、コミュニティの衰退、教育環境の充実等、費用対効果を貨幣価値化し比較する必要。	1	教育委員会で回答
143	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	過去の統廃合で地域コミュニティを事実上崩壊させた苦い経験を、答申案にまったく生かしていない。	1	教育委員会で回答
144	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	地域で子どもを育てると政府が言っているのに、地域と学校が切り離されている。	1	教育委員会で回答
145	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	一般市民にとって小学校の持つ意味は大きいですが、答申には全く触れられていない。	1	教育委員会で回答
146	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	中学校区が変わると制服等が変わって経済的負担が多くなり、メリットは保護者にとって全くない。	1	教育委員会で回答
147	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	地域のつながりや特徴に目を向けてほしい。	2	教育委員会で回答
148	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	住民の気持ちや生活導線・生活環境を最優先に考えてほしい。	2	教育委員会で回答
149	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	新しい学校を作ることが難しいなら、歴史的な経緯を児童・保護者に十分説明してほしい。	1	教育委員会で回答
150	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	インターネットアンケートのみで答申が決定し進んでいくと、保護者や地域の思いとの間に亀裂が入ると感じる。	1	教育委員会で回答
151	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	少子化対策としての統合と、地域活動の拠点としての学校のあり方を、合わせて考える必要がある。	1	教育委員会で回答
152	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	4ページに「当該学校の保護者や地域コミュニティへの説明会等により公表し…」とあるが、全く違反しているため、即決案は白紙に戻すべき。	1	学校統合の進め方の記載内容は、教育委員会における今後の統合に関する進め方を提言しているものです。
153	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	地域や親の考えを聞き、反映させてほしい。	6	教育委員会で回答

N O	答申（案）該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
154	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	統合で、それぞれの学校行事や地域行事の負担が増えるのではないかと。	1	教育委員会で回答
155	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	4月からの説明は、市民の意見を聞くのではなく、事業を進める踏み台ではないかと。	1	教育委員会で回答
156	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	客観的に地域住民が納得できる統廃合を。	2	教育委員会で回答
157	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	学校は子どもにも地域にも非常に大切な場所なので、統廃合は住民や保護者の意見をしっかりと聞き、丁寧な説明会を開いて、理解を得ながら慎重に進めるべき。	7	教育委員会で回答
158	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	該当地域での説明会を開き、アンケートの期間を説明会後まで延期すべき。	1	インターネットアンケートで設定いたしました、21日間という期間につきましては適切であると考えています。
159	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	文科省「手引き」には「特別の事情があるときはこの限りでない」とあり、早急に解決せねばならない課題とは考えにくい。小中学校の統合は行政が一方向的に進める性格のものでない・・・とあるが、現在、保護者地域と課題が共有できているとは思えない。	1	教育委員会で回答
160	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	「オープンな形で」すすめていくとあるが、審議会がオープンでないのはなぜか。	1	審議会では、学校統合の具体的な方策を審議するにあたり、自由、活発な議論を保障する観点から、第6回の審議会から非公開とすることを委員の総意により決定したものです。
161	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	答申案が出て20日間で意見を求めることは、市民や保護者にオープンな形で意見を聞くことにならない。	2	インターネットアンケートで設定いたしました、21日間という期間につきましては適切であると考えています。
162	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	学校統合は大きな問題なので、答申案についてもっと幅広く意見を聞くように努力すべき。	1	答申（案）については、保護者や校区コミュニティの代表も含めた様々な専門分野から選出された委員により審議し、まとめたものです。また、アンケートについてもホームページを通じて実施しており、広く意見をお聞きしているものと考えています。
163	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	統合にあたっての「協議会」など書いていますが、その前の段階での意見交流が必要であると考えます。審議会の討論を開示してください。そうでなければ、判断しかねます。	1	審議会では、学校統合の具体的な方策を審議するにあたり、自由、活発な議論を保障する観点から、第6回の審議会から非公開とすることを委員の総意により決定したものです。また、議事録については適切な時期に公表する予定です。
164	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	もっと時間をかけて広く市民の意見を聞いて検討すべき。意見募集期間が短すぎる。	12	インターネットアンケートで設定いたしました、21日間という期間につきましては適切であると考えています。
165	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	市民にももう少し丁寧な説明が必要。	2	教育委員会で回答
166	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	周知の方法や内容が不十分（広報への記載は対象校まで等）、不親切。	10	教育委員会で回答
167	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-b	4	小規模校を機械的に統合するのは問題だと思います。それに伴う児童の生活やコミュニティの変更はどうするのでしょうか。児童、保護者、地域住民に説明会をするなど、検討してからにするべきです。	1	教育委員会で回答
168	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-c	4	(2)②ア. a) b) c) d)については、特にしっかりとしてほしい。PTA会員、自治会、福祉等の相互交流が最も重要だと思う。	1	ご意見のとおりと考えます。
169	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-c	4	PTA役員などをポイント制にしている学校があり、統廃合でトラブルが起きる可能性がある。	1	学校統合にあたっては、保護者及び地域コミュニティ、学校、教育委員会等の代表からなる(仮称)統合協議会を設置し、新しい学校を築く観点で、統合に関する諸課題について協議・検討を行うこととしています。その際には、学校やPTA、地域の方々の交流についても協議・検討をお願いしたいと思います。
170	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	どうしても統合が必要なら、ある程度コミュニティが交流を持ってからにしてほしい。	1	
171	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	「統合協議会」は、「統合はやめて」という意見交流の場にはならぬだろう。	1	
172	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	学校の統合による地域の変化にも十分な配慮をしていただきたいです。	1	教育委員会で回答
173	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	学校統合を進めるのは良いと考えます。その際、通学時の安全性などを先に確保しなければ、行動範囲が広がるので心配です。	1	教育委員会で回答
174	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	交通ルールを守らない外大生に混じって登校させるのは心配。	1	教育委員会で回答
175	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	小学校の統合は校区が広範囲になり、特に低学年の児童には負担が増えるのではと心配です。	1	学校統合により校区が広がった場合でも、変更前と同様に学校や家庭、地域の方々により子ども達を見守っていただきたいとします。
176	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	校区が広がると目が行き届きにくくなり、危険を感じる。	1	
177	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	廃校にすると地域コミュニティの夏祭りや運動会の運営が難しくなり、少子高齢化が問題の地域をさらに苦しめることとなりますので廃校とする方針をとらないでください。 理由：小中学校はいわば、若い世代を引き付ける地域インフラの一種であり、若い世代を引き付けることで地域に住む世代が循環し、少子高齢化を食い止める役割を果たしています。逆に廃校となれば、若い世代が流出し、少子高齢化が進み、税収も減り、限界集落を増やし、何を目的で廃校としたのかわからなくなります。	1	教育委員会で回答

N O	答申（案）該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
178	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	統廃合によるメリットが感じられなければ、不満が出るのみ。実感できるメリットがないと意味がない。	1	教育委員会で回答
179	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	母校がなくなるのはさびしい。	2	教育委員会で回答
180	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	統廃合後の学校は、校名や校歌を替えるなど、新しい学校だということを見守る・保護者に目に見える形でわかるようにするのが良い。	1	学校統合にあたっては、保護者及び地域コミュニティ、学校、教育委員会等の代表からなる（仮称）統合協議会を設置し、新しい学校を築く観点で、統合に関する諸課題について協議・検討を行うこととしています。
181	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	統合した際、現状の留守家庭児童会の教室数を確保し、全員が入室できるのかなど問題もあり、留守家庭児童会担当部署も一緒に現状を分析・検討・公開すべきではないか。	3	教育委員会で回答
182	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	これから統合するのだから、地域連携より、現在の地域のしがらみがないように考えていくべき。	1	教育委員会で回答
183	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	統合して使用しなくなる学校を有効に使用する方法を示してほしい。	2	教育委員会で回答
184	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	廃校になった学校を残し、有効利用を。	1	教育委員会で回答
185	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	跡地利用の計画を公表してほしい。	2	教育委員会で回答
186	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	跡地利用は公共分野の利用に限ってほしい。	1	教育委員会で回答
187	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	廃校になった場合、学校を使って行っていた地域の行事をどうするか検討してほしい。	1	教育委員会で回答
188	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	その後の利用方法によっては、住環境がかなり乱されるように感じます。小学校だから保たれている環境も、住環境としてしっかりと守って頂ける利用方法がしっかりと検討されているのでしょうか？	1	教育委員会で回答
189	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	小学校が地域コミュニティ・防災拠点・高齢化等の福祉拠点としてあることに、統合は配慮すべき。	2	教育委員会で回答
190	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	学校は防災と地域交流の重要な拠点でもある。	2	教育委員会で回答
191	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	廃校によって災害時の1次避難所としての機能低下が危惧されますが、どのように対策をとるのか説明してください。 理由：小学校は災害時の1次避難所としての役割もあります。小学校は災害時の1次避難所になっており、現在でも収容人数が不足している状況です（添付資料8参照）。 廃校となった小学校をそのまま残しておいても人が使わない建物はメンテナンス不足で災害時に使えないものになる可能性が大きいです。	1	教育委員会で回答
192	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	1次避難所としての機能低下も心配されるので、危機管理室との調整も必要です。	1	教育委員会で回答
193	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ア-d	4	高齢者を支える福祉の観点から廃校をコミュニティで利用できるように。	1	教育委員会で回答
194	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ	5	留意事項に、「教育環境の充実」についてあるが、教育環境をよくするために統合するのだからさらに充実させる必要はない。そもそも、統合せずとも教育環境を充実させればよいのではないか。	1	学校統合にあたっては、近年の教育内容・教育方法の多様化や学校を取り巻く社会状況の変化、安全・防犯対策や地域との連携などへの適切な対応を考慮した施設・設備に整備すること。などを留意事項とし、更なる教育環境の充実を求めています。
195	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ	5	教育の質を落とさないように。	2	教育委員会で回答
196	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ	5	学校環境・通学環境が向上するような統廃合をしてほしい。	1	学校統合は、子どもたちの学習環境の整備、向上を第一義に実施するものです。
197	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ-a	5	通学距離が長くなっても、長時間過ごす学校での生活が重要。	1	教育委員会で回答
198	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ-a	5	1教室に何名児童が入るかの規定をしっかりとし、もっと教育がしっかりとできる児童数を維持できるようにするため柔軟に対応できる教室を確保してほしい。	1	教育委員会で回答
199	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ-a	5	統廃合で必要以上の予算支出をし、将来の負担が増えないようにしてほしい。	2	教育委員会で回答
200	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ-b	5	先生を正規雇用して、子どもたちにしっかりと向き合えるゆとりを保障してほしい。	1	教育委員会で回答
201	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ-b	5	支援を要する児童が増えており、支援学級やクールダウンの場所が必要。	1	教育委員会で回答

N O	答申（案）該当部分			意見概要	件数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
202	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ-b	5	不登校やいじめから逃れられなくなる心配もあります。	2	教育委員会で回答
203	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ-b	5	統合して、いじめ等の問題が起きるのではないかと。	2	教育委員会で回答
204	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ-b	5	学校統合で友人関係や環境の変化に配慮した学校づくりができるのか心配。	1	学校統合にあたっては、留意事項の一つとして環境の変化による児童生徒の心のケアに配慮するよう求めています。具体的には、統合前の教職員を配置するとともにスクールカウンセラー等を配置し支援を受けられる体制の整備などが考えられます。
205	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ-b	5	「学校統合にあたっては・・・児童生徒の心のケアに配慮・・・」とあるが、具体的にはどのように考えているのか。	1	
206	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ-b	5	児童の生活・学習環境の変化による精神的負担にたいして十分な配慮が必要です。	1	
207	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ-b	5	小規模校の課題解消が「統合」だけで進められるのは、対象となる学校の子どもにとって負担が大きいのと思います。	1	
208	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ-b	5	小・中学校を統合し、減少することによって、先生や生徒への影響をよく考えて欲しいです。人数が少ないこと、統合することの必要性を考えて適正な配置の検討をお願いします。	1	
209	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ-b	5	学校という集団生活の中で児童・生徒がきちんと育つ機会が用意されているかどうかすべてにおける判断基準。	1	教育委員会で回答
210	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ-b	5	子どもの教育は、ハード・ソフトともにゆったりとした環境でしてほしい。	1	教育委員会で回答
211	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-イ-b	5	支援学級在籍児には小規模な学校がよい。マンモス校では友達関係等がうまく築けない。大人数になって弱い立場の子が蚊帳の外にならないよう配慮して欲しい。	1	支援学級在籍の児童生徒へのケアにも配慮する必要があると考えます。学校統合にあたっての留意事項として、4(2)②イbに支援を行うことを述べています。
212	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-ウ	5	統合により大規模校になると、目が行き届かずいじめなどがおきやすい。のびのびとした環境で教育が受けられるよう、大規模すぎる統合は問題であると考えます。	2	大規模校も課題ですので、統合の実施時期は常態的に大規模校としない時期に行うべきであると考えます。
213	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-エ	5	統廃合で浮いた費用を通学路の警備等に使っては。	1	教育委員会で回答
214	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-エ	5	通学距離の基準はどの様に考えていますか。また、距離が長くなると安全性や習い事、勉強時間に影響します。児童生徒の視点で、通学距離や通学時間を最優先に考えると、市民や保護者の意見を聴いて欲しい。ます。あるのだと思いますが、学校は近いのが一番だと思います。子どものことを一番に考えてほしいです。	11	通学距離に係る文部科学省の基準(小学校:概ね4km以内、中学校:概ね6km以内)を元に、重要な事項として検討しました。なお、「通学路の安全性の確保に努めること。」を留意事項に盛り込みました。
215	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-エ	5	自転車通学をさせてほしい。通学で疲れ果てる。	1	教育委員会で回答
216	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-エ	5	バス通学を検討してはありますが、バスルートがない生徒はどうなるのでしょうか？バスルートがある生徒にしても、そのバス代はどうなるのでしょうか？	1	適正化方策の検討にあたって、通学距離に課題がある場合、バス路線があるかどうかを、各方策案の比較・評価の際に用いました。
217	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-エ	5	近くの学校に通わせてほしい。	1	教育委員会で回答
218	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-エ	5	昨年度より指定中学校が樟葉中から樟葉西中に変更。30分以上かかり、健康や発育が心配。自転車通学も視野にいれ、通学距離に配慮を。	2	教育委員会で回答
219	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-エ	5	通学距離は、実際に歩いて見ないとわからない。	2	教育委員会で回答
220	4.「将来における適正な配置等のあり方」の検討について	4-2-2-エ	5	地域の特性や通学時間、通学路等を考えると現在が適正な学校配置。	2	今後、少子化の進行により児童生徒数が更に減少していく状況にあつて、全市的な新たな課題として適正な学校配置等について検討する必要があり、この度、審議を重ね答申案としてまとめたものです。
221	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-1	6	統廃合により大規模校になる場合は避けるべきだ。	3	学校統合により常態的に大規模校になることは避けなければならない、統合時期を見定める必要があると考えます。
222	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-1	6	統合による校舎の増築それにとまなう、運動場の縮小等は避けるべきだ。	2	学校統合に際しては、校舎のリニューアルなど良好な学習環境の確保が重要となりますが、文部科学省令に定める運動場の基準面積は、確保しなければならないと考えます。
223	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-1	6	歴史のある学校の統廃合については慎重に対応すべき。	3	「〇地域連携 イ。」にあるように学校の沿革、地域の歴史的な経緯を検討要素の一つにしています。
224	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-1	6	小学校と中学校との子どもの体格発達成長を中心に基本点を置くことが重要。	2	教育委員会で回答
225	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-1	6	学級数はもう何年も現状と変わっていないのに、早期の統合を謳う学校があるのはおかしい。他の統合案の学校と同じだけの準備期間が必要。	2	学校統合にあたっては、統合する3年前までを基本に公表し、保護者及び地域コミュニティ、学校、教育委員会等の代表からなる(仮称)統合協議会を設置して学校統合に関する諸課題について協議・検討を行うこととしています。
226	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-1	6	方策に教育環境が入っていない。	2	統合方策案の検討にあたっては、「〇施設規模・良好な学習環境の確保」についても検討の視点の一つとしています。

N O	答申(案)該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
227	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-1	6	方策に、施設の設置環境(地形・ライフライン等)が入っていない。	2	統合方策案においては、統合校を新たな場所に設置するものでないため、学校規模や施設規模など5つの視点からの比較・検討を実施しています。
228	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-1	6	適正な学校規模の確保は必要だと思うが、地域との連携や子どもの生活環境の変化には十分な配慮と丁寧な対応を望む。	2	ご指摘の2点は重要な視点として検討しています。今後、学校統合を進めるにあたっては大切にしていけるべきであると考えます。
229	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-1	6	安全な場所を統合校の学校にすべき。子ども達の安全を第一に考えて欲しい。	2	統合方策案の検討にあたっては、子ども達の安全を第一に考えて行っています。
230	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-1	6	これまでの枚方市内での廃校、村野小・村野中等の当時の市民・小中学生のことも思い出し、忘れないでほしい。	2	(村野小・中学校の経験を踏まえ)答申(案)における学校統合にあたっての留意事項で(保護者および地域コミュニティ、学校、教育委員会等の代表者からなる(仮称)「統合協議会」を設置することや「環境の変化による児童生徒の心のケアに配慮するとともに、教職員の人事配置など統合後の学校運営や学習環境の充実等について支援を行うこと」など)丁寧な対応に努めることとしています。
231	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-1	6	校区を広げて親の目の届かない所での友達との交流は絶対に良くない。	2	統合方策案の検討にあたっては、「〇通学区・子どもの生活圏の確保の視点」についても要素の一つとして検討を行っています。なお、校区の大小に関わらず学校・家庭・地域で子どもたちを見守る必要があると考えます。
232	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-1	6	提言されている5項目の視点から比較・評価することには異存はない。	2	教育委員会で回答
233	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-1	6	児童数減少に伴う校区の拡大は、避けがたい状況にありますが、校区の設定については、それぞれの家庭が校区や住環境等を考慮し、居住していると考えます。そう考えるのであれば、単純に「施設に余裕がある」、「一番近い隣接校への統廃合」との趣旨である当該答申については、再度、「住環境」、「校内環境(学力を含む)」等の項目を追加し再検討していただきたい	2	重要な視点として、5つの項目について検討を行いました。
234	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2	6	一部の小規模小学校以外は10数年先の話なのに、なぜ具体的な校名まで出して子どもや保護者に不安を与えるのか。	3	学校統合は、少子化の進行により児童生徒数が更に減少していく状況にあって、全市的な新たな課題として検討していく必要があり、保護者や市民の皆さんに不安を与えるのではなく情報を共有していくことが必要であると考えています。
235	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2	6	課題校について、もう少し個別に具体的な検討が必要。	2	教育委員会において、具体的実施計画を策定する際に更に詳細な検討がなされるものと考えます。
236	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2	6	早期にモデルとなるような統合校ができる様に進めて欲しい。	2	教育委員会で回答
237	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	樟葉小・樟葉北小の区割りを変更して児童数の均等化を。	16	本審議会では、地域コミュニティや自治会を分断しない学校統合を基本方策としましたが、校区や地域の実情に応じて校区の変更も選択肢の一つと考えます。
238	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	近くで通いやすい小学校に通えるよう、小学校の選択制の導入を。	8	教育委員会で回答
239	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	現在大規模校でゆとりのない樟葉小に、「統合校」として十分に収容できる広さがあるとは思えない危険。	14	学校統合することで統合校が常態的に大規模校になることは避けなければならないので、統合時期を見定める必要があると考えます。なお、統合にあたっては、校舎のリニューアルなど良好な学習環境の確保が重要であり、適切な施設・設備を整備することを留意事項で求めています。
240	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	学年1クラスとなるのは問題がある。	5	教育委員会で回答
241	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	在校児童数が答申のとおりになるのなら、樟葉小との統廃合もやむを得ない。	3	教育委員会で回答
242	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	樟葉北小は小規模なので運動場も行事ものびのびとして、コミュニティとしても楽しくまとまっている。このままで。	3	樟葉北小学校は、平成30年度から小規模校になると予測されます。小規模校については、課題が多く、学校規模や配置の適正化が必要と判断しました。
243	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	樟葉北小が廃校になると、校区のまとまりや魅力がなくなり、過疎化につながる。	2	
244	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	「楠葉中の芝」地区から通学する児童にとっては、学校までの距離がとては遠くなり、通学範囲に問題がある。	3	統合方策案においては、一部において現行より通学距離が長くなり最長1.7kmとなる区域が発生しますが、通学可能な範囲と考えます。なお、中之芝地区において住宅開発が計画されていますが、児童数を著しく増加させるほどの規模ではありません。
245	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	樟葉北小は、ここへ通わせるために引っ越してくる人や中の芝の開発等で児童数が増える可能性が十分ある。	4	統合方策案においては、一部において現行より通学距離が長くなり最長1.7kmとなる区域が発生しますが、通学可能な範囲と考えます。なお、中之芝地区において住宅開発が計画されていますが、児童数を著しく増加させるほどの規模ではありません。
246	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	地域の避難場所等必要性のある施設の存続を。	2	
247	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	校区の高齢者の比率が高まっており、防災拠点として樟葉北小は必要。	2	
248	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	樟葉北小は高台にあり、調理場も備わっていて災害時の避難所として重要。	2	教育委員会で回答
249	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	樟葉北小の跡地をどのように活用するのか。	2	

N O	答申（案）該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
250	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	樟葉北小校区は市の体育施設から遠く、地域の健康老人育成のため学校の体育施設を利用していきたい。	2	
251	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	樟葉小学校は水害に弱く、避難場所として不適當。	3	教育委員会で回答
252	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	合理化や効率化の観点のみでの統廃合は望ましくない。	4	学校統合は、経済性や効率化の視点から実施するのではなく、子どもの教育環境の整備・向上を第一に考え実施するものであると考えます。
253	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	居住しているところが樟葉北小校区です。娘が小学生のときに一学級になるかも知れないといわれていましたが、2学級のままでした。今後の少子化対策や枚方市の政策等で増加することを期待します。どの統廃合でも気がかりなのは、通学距離がながくなること通学路の安全、心の問題です。	2	統合方策案の検討にあたっては、通学区域を一つの視点として捉えています。また、通学区域については、通学距離だけでなく通学路の安全性や子どもの生活圏も重要な要素としています。また、学校統合にあたっての留意事項の一つとして環境の変化による児童生徒の心のケアに配慮するよう求めています。
254	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	樟葉小学校の通学路については、正門前の道路の幅がせまいこともあり危険。	5	
255	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	統合によって、樟葉北小の自校方式の給食がなくなってしまうのではないかと心配。	2	教育委員会で回答
256	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	樟葉北小と樟葉小が統合して大規模になったとき、今の樟葉北小のような手厚い教育ができるのかイメージができない。	2	学校統合にあたっては、留意事項において、環境の変化による心のケアに配慮するとともに、教職員の人事配置など統合後の学校運営や学習環境の充実について支援を行うことなど、統合前と比べてマイナスとならないよう求めています。
257	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	樟葉小・樟葉北小・樟葉中を統合して小中一貫校にしてはどうか。	2	統合方策案の検討にあたっては、小中一貫校の設置についても検討を行いました。学校規模や施設規模に課題があり、困難との結論になりました。
258	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	直線距離では、樟葉北小学校区の家から樟葉北小学校までの距離>樟葉小学校区の家から樟葉北小学校までの距離と言う事で、現在の樟葉小学校区の子供たちは、樟葉北小学校に通う事は、無理な事ではない。	2	統合方策案の検討にあたっては、通学距離だけでなく学校規模や施設規模など5つの視点から比較・評価を行い決定しています。
259	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	樟葉小学校区の地区をわけ、1年ごとに輪番制で樟葉北小学校に通学する。地区で分けることにより、登校班での通学が可能。学年でバラツキがあるので、満遍なく各学年行き、樟葉北小学校の人数が増加する。1学年1学級にならない。関わりがあると、中学になってもなじみやすい。現在、樟葉小学校の子供たちが楠葉中学では、大半を占めるので樟葉北小学校の子供たちが圧倒されると聞く。	2	校区を地区ごとに、また輪番制で他の学校に通わせることは、教員や他地区の友人と別れることになるなど大きな混乱を生じることになり困難です。
260	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	大規模校になった場合の対処の吟味の理由に現代の問題が入っていない。	2	教育委員会で回答
261	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	限られた土地を活用し、学年で学校を分別する(低学年は樟葉北小、高学年は樟葉小)や、区画整理するなどの方法など明示があって判断を示して欲しいと考える。	2	学年によって通学する学校を分別する方法は、小学校において縦の異学年間の交流が図れない、兄弟が離れてしまうなど多くの課題があり、現実的には困難と考えます。
262	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	地元の中学校教員について、良い評判を聞かないのが残念。	2	教育委員会で回答
263	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-1	7	樟葉エリアは、文教地区としてブランド化しつつあると思う。	2	教育委員会で回答
264	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-2	8	小中一貫モデル校で落ち着いて学力も高いのに統合とは納得がいかない。	2	招提北中学校は、現在、小規模校であり平成55年度においても小規模校であると予測されます。小規模校については、課題が多く、学校規模や配置の適正化が必要と判断しました。ただし、平成30年度から適正規模になるため、今後の生徒数推移を見定めることとしています。
265	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-2	8	招提北中は、小規模であるがゆえにとっても静かで落ち着いた学校です。勉強もしやすいし、親として安心して通学させられます。	2	
266	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-2	8	当該項目について、資料を読む限りでは、招提北中学校は数年間小規模校になるもののその後、小規模校が解消され、再度小規模校となるのが平成50年から明記されています。当事者としての理解では、平成50年度前後に統廃合となると考えていますが、その理解でよろしいでしょうかまた、そうであるならば、人口動向については、予測であるため、現実と乖離があると考えます。一旦、当該校については、除外し、10年後に再度検討されてはいかがか。	2	学校統合は、少子化の進行により児童生徒数が更に減少していく状況にあって、全市的な新たな課題として検討していく必要があり、保護者や市民の皆さんに不安を与えるのではなく情報を共有していくことが必要であると考えています。
267	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-2	8	わざわざ遠い学校に通うことになった挙句、行った先はモラルも評判も低い中学校です。自分の子に悪い影響を与えるのではないかと心配でたまりません。この先、高校受験を控えているのに、学力レベルが落ちる学校になど絶対に通わせたくありません。保護者は皆そう思っています。	2	教育委員会で回答
268	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-2	8	招提北中学校の統合について。まず何より通学可能な距離ではない。招提中学校の辺りへは、普段車を利用する距離である。もし、統合され自分の子供が招提中学校まで通うことになった場合、通学時間の不安から、部活動もさせることができなくなるのではないだろうか。	2	
269	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-2	8	車の多い道路を通るか、大きく迂回して裏道を通らねばならず、危険ではないか。	2	
270	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-2	8	招提北中の校区から招提中までは遠すぎる。樟葉南小エリアからだと自転車でも遠すぎる。	2	学校統合することで、現行に比べ通学距離が長くなる区域が発生することは承知しています。最長3.1kmとなる区域については、課題があるため一部区間についてバスの利用を検討する必要があると考えます。なお、バスの本数等については、把握しています。
271	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-2	8	「バス通学の検討」とあるが、バスの本数を知っているか。	2	
272	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-2	8	中学1年生が、バスを乗り間違えないか。	2	

N O	答申（案）該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
273	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-2	8	統廃合が避けられないのなら、通う学校を自分で選択させるべき。	2	教育委員会で回答
274	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	中宮北小の児童数は高陵小より百名以上多く、現状が適正であり、今統廃合は必要ない。	19	今後小規模校になることから、高陵小との方策を提言しました。
275	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	高陵小の校区の見直しを検討するのがよい。	10	高陵小学校に隣接する学校は、小規模校または適正規模であっても12学級の学校であり、校区の変更を実施しても小規模校の課題を解消できないため学校統合を基本方策案としたものです。
276	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	高陵小は崖のすぐそばで、「土砂災害危険箇所」に隣接する危険な場所に立地しており、運動場が傾いていると聞く。建築年数が経過して体育館も狭く、学校や避難場所として適さない。危険な立地の高陵小は移転させるべき。	17	高陵小学校の敷地は、法面の対策工事を完了しており「土砂災害危険箇所」に指定されていません。また、学校統合にあたっては、校舎のリニューアルなど良好な学習環境の確保が重要であり、適切な施設・設備に整備することを留意事項で求めています。
277	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	統合するなら、人数が多く、地形的に安全で、校舎も新しく避難場所としても適切な中宮北小に統合校を置くべき。	16	統合方策案の検討にあたっては、○学校規模○施設規模○通学区域○小中連携○地域連携の5つの視点から比較・検討を行い、結果として高陵小学校敷地を活用することが望ましいと判断しました。
278	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	児童数の減少による統廃合を合理的に進めているのに、「学校の沿革」を重視するのはおかしい。考慮していない場合もあり矛盾。高陵小も他校から分離している。	16	
279	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	高陵小に統合されると、多くの児童や留守家庭児童会の児童が交通量の多い道路や防犯上問題のある道を通ることになり危険が増す。	16	
280	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	中学校も違う方向なので、中宮北小の児童が高陵小へ行くメリットがない。	2	
281	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	高陵小は中央に位置していない。	5	
282	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	通学距離は毎日の問題であり、年1回の運動会の志気等とは比較にならない問題。	2	
283	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	統合校の設置場所については、生徒だけでなく地域にとっても重要な事項であるため、審議会の委員だけの判断ではなく、少なくとも各校区のPTAや地域の代表が参加した場で議論されるべきではないでしょうか。	2	
284	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	最大16学級であれば、中宮北小でも高陵小でも大丈夫ではないか。33年以降の統合だと教室不足はない。	9	
285	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	名前は高陵小でよいので、中宮北小の校舎に統合を。	3	
286	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	統合される学校と統合先校が対等になるよう新しい学校として設立しなすべき。	2	
287	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	統合すると1クラスの人数が増え、教育の質が低下すると考えられる。統合しても同じ学級の人数にすべき。	2	教育委員会で回答
288	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	統合した学校の留守家庭児童会は、2校分を受け入れ、且つ今後6年生までの児童の受け入れもできるのか。	2	教育委員会で回答
289	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	高陵小と中宮北小の教室面積は同じなのか。	2	高陵小が保有する普通教室は26教室、中宮北小が保有する普通教室は19教室です。なお、1教室あたりの面積は同じです。また、市長公約による少人数学級編制が実施された場合、高陵小において教室が不足することはありません。
290	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	受け入れ可能な教室数が、高陵小は余裕はあると記載はあるが正確な保有数の記載がされていない。(市長が改革に掲げている少人数学級編制を行った場合、高陵小でも教室数が不足しないのか。)	5	
291	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	単に学校を統合するからといって、コミュニティのエリアも同等で広がるというような、それこそ誰もが発想しそうな安易な施策にならないよう願うばかりです。	2	学校統合は、地域のコミュニティにとっても重大な問題であると認識しています。コミュニティの統合等については、枚方市や当該コミュニティと協議のうえ進めるべきと考えます。
292	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	統合の場合、コミュニティは校区と切り離して検討すべき。高陵校区の人々とのつながりを新たに作るには遅すぎる。	2	
293	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	高陵と中北の統合で学級数がグッと多くなるとは思いませんでした。さしあたっては適正規模になりますが、また数年後には学級数が規定より少なくなるのではと思います。ただ、市長の公約通り、35人学級になるのであれば高陵と中北だけの統合でも適正規模を保てる。	2	市長公約である少人数学級の拡充について状況を見守る必要があると考えます。今後、新たに学級編制基準が変更された場合には、必要に応じて適切に対応する必要があると考えます。
294	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	中宮北小はトイレ改修や体育館の建て直しを行ったところなのに廃校にするのは税金の無駄遣い。	3	教育委員会で回答
295	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	統合時期は、外大の工事が完了してからでよいのではないかと。	2	
296	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	来春より3年かけて地域住民を説得、2年かけて高陵小を建て直し、6年後に統合することまで決定しているとは何事か。	2	
297	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	今回の案の中で「できる限り早期とする」とありますが、この早期とは何年度をさしているのでしょうか？	2	

N O	答申（案）該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方	
	章	項目	頁				
298	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	高陵小の小規模化については、以前からコミュニティが提案している。今までそのままにしておいて、犠牲を今の子どもたちに負わせないでほしい。「できる限り早期に」は削除を。	2	答申案においては、統合の実施時期については、「できる限り早期」としていますが、具体的な実施時期については、明示していません。実際の学校統合の進め方については、当該学校の児童生徒や保護者、当該学校に関係する地域コミュニティなどへの十分な説明をおこない、理解と協力を得ながら進めることとしております。	
299	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	唐突な話。説明会等で、地域住民・保護者の話を聴き、納得する十分な説明をしてほしい。もう少し保護者や地域が納得してからでないと、子どもたちに影響するし、統合してうまくいかない。	8		
300	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	過去の他県のように、統合に抗議して自殺する子どもが出たらどうするのか。	2		
301	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	答申案を白紙撤回し、地域コミュニティや自治会と一から話し合うことを望む。	2		
302	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	高陵小学校と中宮北小学校の統合については、ある程度理解しますが、「できる限り早期とする」との時期の記載が必要なのでしょうか。「配置等のあり方」では3年前までに公表することとなっていますが、本答申案に時期を記載することにより、生徒、保護者、地域に混乱が生じています。	3		
303	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	配慮を要する児童の保護者。統合の場合、中北小の先生に多く高陵小に行ってほしい。	2		学校統合にあたっては、留意事項において、環境の変化による心のケアに配慮するとともに、教職員の人事配置など統合後の学校運営や学習環境の充実について支援を行うことなどを求めています。
304	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	ある学年から徐々に分離していけば、途中から小学校が変わることにはならない。	2		新1年生から校区の変更を実施するものと推測しますが、新入生だけで通学することになることや徐々に児童が減ることになる学校の運営面など課題が多く、徐々に校区を変更することは困難と考えます。
305	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	中宮北小と高陵小を統合しても、H55年度にはまた小規模校になる。これ以上子どもを犠牲にしないよう慎重に検討を。	2		学校統合を実施しても平成55年度には、再び小規模校になると予測しています。その際には、改めて検討する必要が生じるものと考えます。
306	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	高陵小校区は児童よりも高齢者が増えると予測される。その方々を対象とした施設等にはどうか。	2		教育委員会で回答
307	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	高陵小の跡地に禁野保育所を作るなど、その場しのぎでない計画と発想を持つべき。	2		
308	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	中北小を地域の避難場所や活動の場として残してほしい。	3		
309	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	中北小の跡地を関西外大に土地を売るのをやめてほしい。付近の土地を外大が買い占めている。	5		
310	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	中宮北小は地域にとって、文化・防災の重要な施設であり、廃校にすることは市長の方針と矛盾する。	2		
311	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	高陵小のほうに統合するのは、市長や土地の有力者の意向があるからではないか。	8	学校統合は、子どもを第一に考え実施するものです。	
312	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	今統合すると、将来児童数増でパンクする。	2	仮に今、学校統合を実施した場合、将来においても適正規模を維持すると予測しています。	
313	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	高陵小傍に関西外大が建設されることで、工事中車両等や、学生が増えることでの道の混雑・バイク等の増加・治安の低下等が心配。外大生は交通ルールをあまり守っていない。使用目的は何か。	13	教育委員会で回答	
314	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	中宮北校区は人気があるので、住宅を作れば子どもは増える。幼児のいる家庭も多い。	11	教育委員会で回答	
315	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-3	9	高橋開発が中宮北小校区で住宅建設を希望しているのに売らないのはなぜか。	2	教育委員会で回答	
316	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-4	10	地域コミュニティを壊して中宮小を明倫小から分離した時に、明倫小を廃止する案は出なかった。	2	昭和47年に明倫小学校の大規模解消のため、中宮小学校を分離開校したものであり、明倫小学校の廃止案は出ていません。	
317	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-4	10	明倫小はまだ新しく、枚方で初めてオープン教室になり、モデル校といわれ、この校舎をなぜ廃校にするのですか？	2	明倫小学校は、現在、小規模校であり平成40年度に一時適正規模の範囲になると予測されるものの、それ以降は再び小規模校になり、課題が多く学校統合により解消を図る必要があると考えるものです。	
318	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-4	10	中宮小学校に明倫小を統合すれば過密校になる。校舎を増築するとそれだけ校庭も狭くなってしまふ。先生方には仕事の量が減り、大変メリットがあるかも知れないが、子ども達に目が行き届かない。	2	中宮小学校と明倫小学校とを統合しても最大で22学級(普通学級)であり、適正規模の範囲です。なお、中宮小学校は、普通教室を35教室保有しており、過密校になりません。	
319	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-4	10	中宮小学校と明倫小学校の統合だと、クラス数も多くなり1クラスの人数も増え、今よりマイナス面が増える。(中宮小以外になっても困ります。今のままでいいです！)	2	教育委員会で回答	
320	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-4	10	中宮、明倫小学校を統合して中宮小学校まで危険な道路沿いを通わせるのはあまりにも遠すぎる。	3	統合方策案の検討にあたっては、「○学校規模○施設規模○通学区○小中連携○地域連携」の5つの視点から比較・検討を行い、結果として中宮小学校敷地を活用することが望ましいと判断しました。	
321	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-4	10	明倫小学校と中宮小学校の統合にあたって、どちらが両地域全体の中心に近いかを検討されたのか。	2		
322	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-4	10	明倫小の建て替え方針を知りたい。コミュニティセンターとして予定されていたのではなかったか。	2	教育委員会で回答	

N O	答申（案）該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方	
	章	項目	頁				
323	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-4	10	環境が変わると子どもに負担がかかる。	3	学校統合にあたっては、留意事項において、環境の変化による心のケアに配慮するとともに、教職員の人事配置など統合後の学校運営や学習環境の充実について支援を行うことなどを求めています。	
324	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小中一貫校は本当に生徒の為になるのかと疑問。小→中→高と生活範囲の規模を少しずつ大きくしていくのが子どものため。	2	小中一貫教育の取組は、実施校のほとんどが顕著な成果を認識しており、その内容は学力向上、中一ギャップの緩和、教職員の意識・指導力の向上など多岐にわたっています。その一方で教職員の負担軽減など解消を図るべき課題も存在します。全国的に広がっており、今後さらなる増加が見込まれています。とりわけ施設一体型の小中一貫校は教育効果が認められ、今年度、学校教育法を一部改正し、市町村の判断において設置できることとされました。	
325	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小中一貫校の導入には反対です。(9年間は長すぎると思う)個人的には中高一貫の方が良いと思います。	2		
326	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小中一貫校のテストのために我が校区を利用しないでほしい。	2		
327	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小規模対策といいながら、なぜ唐突に小中一貫校の導入に踏み込むのか。小中一貫校の導入について、保護者・教職員・市民に対しこれまでどの様な説明をしてきたのか。他県・府下の施設一体型一貫校の例や、専門家の意見等から十分な検討がされたのか。科学的なデータでメリット、デメリットを挙げ市民への説明を充分にし、意見を尊重し進めるべきである。決して強行することのないよう望む。	19		
328	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小中一貫校は、適正化の延長や経費節約の問題として考えるべきではない。	2		
329	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	公立の施設一体型小中一貫校は、現状では合理化の部分が目立つ。	2		
330	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	規模適正と一貫校の設置は全く違う次元の課題であり、並行して進めるにしても、それぞれの教育的効果の区別は明確化すべき。	2		
331	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小中一貫校設置は、一貫校の教育的評価・効果が明瞭になってからでよい。	3		
332	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小中一貫教育の目的の一つの「中一ギャップ」は文科省国立教育政策研究所の報告でも「科学的な根拠なし」と述べられている。	3		
333	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	施設一体型小中一貫校は、実施校から問題点が多くあげられている。(不登校やいじめから逃れられなくなる/6年生の意識や7年生の意識が高まらない/受験を控える中学生が、小学生がうるさく集中して勉強できない/思春期の中学生の「荒れ」が、小学生に悪影響を与えている/自分に自信が持てないと答えた子の割合が高い/自己価値(たいていのことは人よりうまくできる)が低い/友人関係にあまり恵まれていないと感じている子が多い/疲労感の強い子どもが多い)	11		
334	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小学校と中学校では発達段階や環境・文化の違いが大きい、一緒にするには無理がある。(遊具・教室・授業時間・行事等)	9	文部科学省が実施した小中一貫教育等についての実態調査(平成26年5月)においては、大きな成果が認められる・成果が認められると回答した小中一貫教育実施校の割合が87%に達しています。主な成果としては、・中学校への進学に不安を感じる児童が減少した。・いわゆる「中一ギャップ」が緩和された。・小中学校の教職員間で互いのよさを取り入れる意識が高まった。などの評価がなされています。	
335	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小中の免許を持っていて両方で教えるというケースは公立ではほとんどなく、小中一貫校の教育上の効果はあまりないのでは。	2		
336	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小中一貫校教育的にメリットの面もありますが、何でも統一しようとして、上名下従になりがち(今以上になる)です。民主的教育とは程遠くなると思います。	2		
337	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小中一貫校について実験的に取り組むのは良いが、失敗を考えて「教育力の向上に寄与する」といった断定的な表現は控えては。	2		
338	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小中一貫には、たてのつながりで学ぶことや小学校格差がなくなることなどのメリットがある。	2		
339	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	このままでは、小中一貫校が学力に関心のない家庭や貧困な家庭の子どもが行く学校になりにかぬない。	2		教育委員会で回答
340	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小学校6年生の卒業式はなくなるのか。	2		施設一体型の小中一貫校においても、小学校の卒業式は実施されていることが多い実態があります。
341	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	この地域だけ小中一貫校になれば、他地域への転入や他地域からの転入に支障があるのでは。	2	小中一貫校であっても他の学校と同様です。	
342	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	財政が厳しいなかで、新たな学校をつくることは市民の納得を得ることができるのか。小中一貫校は、すべての点で普通の小学校や中学校より建築費がかかると思われる。	3	教育委員会で回答	
343	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	山田中学校は荒れている時代が多く、事故や事件が心配。解決が急務。	6	教育委員会で回答	
344	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小中一貫校を交北小学校及び山田中学校敷地に設置することになれば、送電線は小中一貫校を横切るような形で小中一貫校敷地の上空を通ることになり、高圧電線の直下で、強い電磁波を浴びつつることになることを大変危惧する。	2	教育委員会で回答	
345	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小規模校の統合で子どもたちの夢や元気につながる新しい学校を築いていけるのか。小中一貫校が新しい学校なら理屈はわかるが…。	1	教育委員会で回答	
346	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	小中一貫教育の目的の一つに「中一ギャップ」の解消があげられているが、子どもの成長にある程度の段差は必要。	4	子どもの成長にある程度の段差が必要とのご意見は、理解できますが、一方でその段差につまずく子どももいます。	

N O	答申（案）該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
347	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	山田小校区から交北小までは遠すぎる。(犯罪・交通事故・幹線道路・児童の体力等に課題)	16	統合方策案においては、一部において現行より通学距離が長くなり最長2.2kmとなる区域が発生しますが、法令に定める通学距離の限度内となっています。また、校区の大小に関わらず学校・家庭・地域で子どもたちを見守る必要があると考えます。
348	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	山田小・山田東小・交北小が統合すると校区が大規模になり、子どもの行動を親や学校が把握しにくく安全面のリスクが増える。	3	
349	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	交北小は今ちょうどいい規模。	4	交北小学校は、現在、適正規模校で学校統合の検討対象校になっていませんが、平成40年度から小規模校になると予測されます。
350	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	クラス替えがなく安心する子など小規模校ならではの良さが沢山あるので、山田小をこのままにしてほしい。	8	山田小学校は、現在、9学級で小規模校であり、今後も、小規模校が継続すると予測されます。クラス替えができない小規模校については、課題が多く、学校規模や配置の適正化が必要と判断しました。
351	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	交北小の十数年後の児童数は、今後の経済状況や開発状況に左右されるのではないかと。	2	ご指摘のとおり、十数年後の人口推計は、経済状況や開発状況により変動する可能性があります。
352	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	山田中学校が平成28年に適正規模になるのに平成40年再び小規模と予測されるとあるが、どんな予測か。	2	平成28年度から平成33年度までは、山田中学校区内に居住する児童数をもとに算定しています。その後は、枚方市人口推計調査により算定していますが少子化の進行や社会減が予測されているものです。
353	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	学校はなくなる、他の学校に入らなければいけない、7, 8, 9年生がいる、学校は遠くなるなど、山田小学校の子どもたちばかりが負担を背負うことになる。	6	教育委員会で回答
354	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	統合がやむを得ないのなら、近い学校に通えるよう、地区で分けてほしい。	7	本審議会では、地域コミュニティと自治会を分断しない学校統合を基本方策としています。
355	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	学級数や敷地のみで合併を検討するのではなく、この地域コミュニティや学校の特性を考え、もう少し幅広い観点で論議したほうがよいのではないかと。	2	統合方策案の検討にあたっては、「○学校規模○施設規模○通学区区域○小中連携○地域連携」の5つの視点から比較・検討を行い、結果として中宮小学校敷地を活用することが望ましいと判断しました。
356	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	統合には反対だが、どうしてもということであれば、選択性に。	2	教育委員会で回答
357	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	山田中学校の校区を交北小学校と山田東小学校の一部地域とし、招堤中学校と統合。・山田東小学校の校区を再編し、交北小学校区と山田小学校区に編入し、分割統合する。・山田小学校の全面建て替えを実施し、建て替え期間中は山田東小学校を山田小学校として使用する。はなはだ、山田小学校を守るためだけの案かもしれませんが、3小学校1中学校の巨大統合より、子どもたちにゆとりを持った学習活動が行えるような学校は一にすることが望ましいと思います。	2	教育委員会で回答
358	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	子ども医療費の軽減や中学校給食の実施等の施策を進めて若年層・子育て世代を枚方市に呼び込むことが必要で、この山田小校区はその受け入れ地として大いに有望。	2	教育委員会で回答
359	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	教職員を減らすことが目的ならばすべきではない。また、管理職や他の職種の人たちの数が減るので、仕事が増え、十分に配慮がいかなくなるのは目に見えている。	4	学校統合は、経済性や効率化の視点から実施するのではなく、子どもの教育環境の整備・向上を第一に考え実施するものであると考えます。
360	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	3つの学校が統合されると、子どもたちのストレスも大変大きいのではないかと。	2	統合については、教育環境の充実、環境の変化による児童生徒の心のケアに配慮するとともに、教職員の人事配置など統合後の学校運営や学習環境の充実等について支援を行うこととしています。
361	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	自校給食だった小学校は、給食はどうなるのか。	2	教育委員会で回答
362	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	山田小・山田東小・交北小・山田中の統合校(案)は、小学校が29学級と大規模校化する。	2	平成35年度には適正規模の24学級、その後さらに減少すると見込んでいます。
363	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	指定校変更で中宮小に通っても、登校班がなかったり友達関係を一から築いたりコミュニティが山田中のほうだったり難しい。	2	教育委員会で回答
364	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	兄弟で中宮中・山田中と、違う中学に通う可能性がある。同じ中学校にいけるようにしてほしい。	2	教育委員会で回答
365	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	指定校変更で中宮中へ行くと、一小一中のメリットを受けることができない。	2	教育委員会で回答
366	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	ある程度の人が納得するまで何度も説明してほしい。	1	教育委員会で回答
367	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	11	もっと時間をかけて考えてほしい。3年は短すぎる。	1	学校統合にあたっては3年前までを基本に公表し、保護者及び地域コミュニティ、学校、教育委員会等の代表者からなる(仮称)統合協議会を設置して協議・検討を行い、進めることとしています。
368	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-6	12	西牧野小は落ち着き、競争力がないとは感じない。運動会も地域と和気藹々とやれている。	2	学校が地域と良好な関係にあることは把握しており、実施方策及び時期について今後改めて決定するときも重要な視点になると考えています。
369	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-6	12	西牧野小校区には新しい住宅が多く建設されており、予想より児童数が増えるのではないかと。	3	平成32年度及び平成35年度に適正規模の範囲になる見込みであることや小規模ながら住宅開発が行われていることは把握しており、実施方策及び時期については今後の児童数の推移を見定めた上で改めて決定することとしました。
370	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-6	12	西牧野小学校を遠い小学校に統合するのは、小さい子どもたちにとって酷。	2	「通学区」として、通学距離や校区などの視点からの検討を行っています。
371	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-6	12	校区が広くなりすぎ、登下校や放課後の危険が増える。	2	

N O	答申（案）該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
372	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-7	14	開成小と統合すると教室が不足する。	2	教室が不足することはないと把握しています。
373	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-7	14	地域単位で統合すると、遠い地区で40分かかると遠距離通学となり危険である。	3	通学距離が長く他校区を横切る地域については、春日小学校に編入することもあわせて検討する提案としています。
374	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-7	14	1. 四中過密校になる。 2. 天の川を渡っての四中通学。安全面に問題がある。(遠距離ため、クラブ活動終了後の下校時暗くなる) 3. 開成地区今後UR空地民間に売却計画あり。人員増見込み大。	2	第四中学校が過密校となる予測になっていません。また、現在も天の川を渡って通学しており、安全面での課題が生じている状況にはありません。
375	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-7	14	川越小学校区は自然が多く子供も外でのびのびと遊べ、車の交通量も多くなく、子育てするには安全な環境。廃校にするのはもったいない。釈尊寺地は10年ちょっとで寿命となり、建て替えが必要となり子供が増えるかもしれないので、それまで校区を広げて川越小学校を残して欲しい。	2	統合の実施時期については、今後の児童数の推移を見定めることとしています。
376	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-7	14	統合する学校の建替を早急に検討。開成50年以上になります。	2	教育委員会で回答
377	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-8	15	分離ですぐ近くの学校へ行けなくなった児童が自然な通学形態に戻るし春日小から分離したのだから、東香里小と春日小の統合に賛成。	2	教育委員会で回答
378	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-8	15	東香里小の児童数では統廃合の対象になっても仕方がない。	2	教育委員会で回答
379	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-8	15	東香里小のコミュニティはすばらしいので、なくさないでほしい。慣れ親しんだ学校がなくなるのはつらい。	3	地域連携(自治会等の区域)は重要な課題として検討してきました。
380	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-8	15	春日小との校区割を変更し、東香里小へ。	3	校区コミュニティを大切にする必要があると考えています。
381	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-8	15	世代交代により児童数の増加が見込まれると考える。学校がなくなること、子育て世代の転入が減少し、東香里地区の空き家問題が大きくなるのではないかと。枚方市の人口減少を抑えるためにも、子育てしやすい環境は維持すべき。	7	教育委員会で回答
382	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-8	15	東香里小を小中一貫校にしてはどうか。	2	教育委員会で回答
383	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-8	15	東香里小から春日小学校に行く道は、交通量が多く歩道のないところもある。	6	教育委員会で回答
384	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-5	15	統合前に通学路の整備ができるかどうか先決だと思います。	2	教育委員会で回答
385	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-8	15	明らかに児童数が多い。一時期だけだからと流してしまうには子どもが可哀そうだ。	2	統合校が常態的に大規模になることは避けなければならない、また今後適正規模の範囲内になる年度があることから統合時期を見極める必要があると考えています。
386	5.「将来における適正な配置等のあり方」(提言)	5-2-8	15	東香里小学校が各学年単学級になってしまうのは、H55年以降。他の統合検討校に比べ小規模校になる恐れが少ないのに今回なぜ統合の話が出てきたのか。	2	小学校11学級以下である小規模校に該当したため検討しました。今後適正規模の範囲内になる年度があることから統合時期を見極める必要があると考えています。
387	その他			統合ありきの答申に思える。	3	少子化による児童生徒数の推移を踏まえ、さまざまな観点から将来における適正な学校配置について検討したものです。
388	その他			適正化を審議する委員にふさわしい学識経験者が判断するため、委員の専門分野を明記するのが良い。	1	教育委員会で回答
389	その他			審議会委員の出身校区を明記すべき。委員は課題校の校区から選定すべきでは。	1	教育委員会で回答
390	その他			審議会委員に委員がいる私立大学は、跡地利用に関わらないということを進めるべき。	1	教育委員会で回答
391	その他			審議会委員メンバーが偏っている。教育委員会関係者が多すぎる。答申は、コミュニティ協議会関係者等教育以外の専門家を含めて再考すべき。	5	教育委員会で回答
392	その他			なぜ審議会の傍聴ができないのか。審議会の運営が不透明で結論ありきで進められていると感じる。審議会は第6回から非公開になっており、議事録も公開されず地域への説明もない。透明性のある審議会運営と、答申の納得性の向上を。	8	審議会では、学校統合の具体的な方策を審議するにあたり、自由、活発な議論を保障する観点から、第6回の審議会から非公開とすることを委員の総意により決定したものです。また、議事録につきましては適切な時期に公表する予定です。
393	その他			教育的配慮が表現されておらず、枚方市の教育理念がわからない。	1	教育委員会で回答
394	その他			具体性や根拠にかけるところが多々ある答申で、もっと精査・検討が必要。	2	答申(案)につきましては、様々な具体的方策の中から、総合的に審議し作成したものです。
395	その他			答申案は、保護者や住民としっかり話し合って作られるべき。	1	答申(案)につきましては、保護者や校区コミュニティの代表も含めた様々な専門分野から選出された委員によりまして審議しまとめたものです。
396	その他			市長は一部の権力者だけで街づくりをしてはいけない。	1	教育委員会で回答

N O	答申（案）該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
397	その他			答申に寄せられた意見・審議会の資料・全議事録等を公開してほしい。	3	非公開となっている会議録についても、適切な時期に公表する予定です。
398	その他			会議録を適切な時期に公開とされているが、会議の非公開と議事録を作成しないことは、必ずしも連関するものではなく、これを現時点で非公開とすべき正当な理由がないのであれば、直ちに公表すべき。	1	
399	その他			審議会委員の民主的な討論はあったのか。	1	審議会では、学校統合の具体的な方策を審議するにあたり、自由で活発な議論を保障しています。
400	その他			岡澤委員長が関西外大の職員であることはいかがか。	2	教育委員会で回答
401	その他			パブリックコメントがどのように扱われるのか知りたい。	2	インターネットアンケートでいただいたご意見を参考に最終の答申をまとめてまいります。
402	その他			児童・生徒数の推移は、すべて同じデータで統一しないと明確な比較ができない。	1	教育委員会で回答
403	その他			支援学級数の推移も検討すべき。	1	教育委員会で回答
404	その他			平成55年の生徒数を持ち出すのは論外であると思う。	1	教育委員会で回答
405	その他			学校統合の対象となる学校名については、小規模校であることが資料からは読み取れるが、対象とならない学校が、本当にならないのかについては、資料がないため理解できない。	1	教育委員会で回答
406	その他			大規模な校区になると親同士のつながりが薄くなり、交友関係が把握しにくく、地域で子どもを見守りにくくなる。	1	教育委員会で回答
407	その他			適正な校区になるよう、学校の移動や新設も必要。	1	教育委員会で回答
408	その他			H12・13に実施した学校統合の当初予測と統合後の実績を示し、今回の判断材料にしてはどうか。	1	過去に実施した統廃合における課題等も参考にしつつ、今回の答申(案)をまとめています。
409	その他			最近改築した明倫小が小規模校且つ過密校になっているのは見通しの甘さのためではないか。	1	教育委員会で回答
410	その他			各地区それぞれに特徴があり、生活の質・経済的なものが現れている。	1	教育委員会で回答
411	その他			他市の統廃合以外の先進的な取り組みを、答申で触れてほしかった。	1	教育委員会で回答
412	その他			行政の都合・合理主義が前面に出た答申だ。	1	教育委員会で回答
413	その他			中学校区の弾力的運用が様々なゆがみを生む原因になったと思う。委員会の検証も、答申での検証もないと思うが。	2	教育委員会で回答
414	その他			検討不足の答申は不備。	1	充分検討を行った結果、答申(案)としてまとめています。
415	その他			統合後の一学級あたりの定員の変化の予測と、統合による教育的対応の要・不要が示されていない。	1	教育委員会で回答
416	その他			学力調査の点からも適正化を検討すべき。	1	教育委員会で回答
417	その他			行政の立場からではなく、教育の立場からも統廃合するのが良いと思える説得力のある文体にしてほしい。	1	子ども達の学習環境の整備・向上を目的に教育的な観点から答申案をまとめたものです。
418	その他			しっかり検討された案なのか、適正な議論がなされたのか疑問。	1	充分検討を行った結果、答申(案)としてまとめています。
419	その他			歩いて30分以内に小中一貫校や保育園・幼稚園・老人ホーム等を併設してはどうか。	1	教育委員会で回答
420	その他			大切な議論。このアンケート等の意見を踏まえ、より密度の高い議論を期待する。	1	教育委員会で回答
421	その他			検討されている事は理解できるが、早急に対応し・解決されなければ、よりよい教育が出来ないのか。	1	子どもたちにとってよりよい教育ができるよう、様々な方策を検討し、答申(案)としてまとめています。
422	その他			文章を読む限り、資料の数字だけから考え出しただけの机上の空論に見えます。対象に名前を挙げられた学校の児童、卒業生、保護者や地域、コミュニティの人たちの気持ちを全く考慮していません。もっと人の気持ちを考えた血の通った中身にしてください。	1	教育委員会で回答

N O	答申(案)該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
423	その他			小規模校の校区にはマンションを建設する等、できる限りのことをする。まず、子どもを増やすことが大切。	1	教育委員会で回答
424	その他			学校の統合に当たっては、最も影響を受ける保護者や地域住民の意見を踏まえながら進めていただきたい。このたびの意見募集について、市民の意見を募集するものがあるが、実際に今回の募集がされていること自体を知らない保護者や地域住民の方が多く、また、周囲では、市ホームページの掲載場所・掲載内容についても非常にわかりにくいとの声が多くあります。また、意見を募集するとあるだけで、その意見に対してどのような対応になるのかが記載されておらず、意見する機会を設けたのみという印象も受けます。	1	教育委員会で回答
425	その他			答申については、もっと住民などに対する説明会を行うなり、広く意見を集めたいと、検討して出してください。1月に答申を出すように聞きますが、スケジュールが先立つようでは十分意見を反映させるとは言えません。	1	伺ったご意見等につきましては、審議会において検討を行った後、答申を取りまとめます。
426	その他			ここにあるのは数字だけで、子どもたちの姿がみえてきません。地域のコミュニティがどう変化するのか検討されたのでしょうか。また、市民に対して何の説明もないまま、どう意見を書けというのでしょうか。統廃合ありきですすめられるのはおかしいと思います。	1	答申(案)につきましては、保護者や校区コミュニティの代表も含めた様々な専門分野から選出された委員により、少子化による児童生徒数の推移を踏まえ、さまざまな観点から将来における適正な学校配置について検討したものです。
427	その他			他市での課題解決方法について本協議会で調べ、議事録や答申に載せてください。	1	他市の取り組み等の掲載は考えておりません。
428	その他			文部科学省がホームページに掲載している「公立学校選択制事例集」を参考に載せてください。	1	文部科学省の「公立学校選択制事例集」の掲載は考えておりません。
429	その他			一月に答申を出すということですが、これでは住民の意見を充分に聞くことはできません。	1	短い期間ですが集中的に審議し、アンケートでいただいた市民の皆様のご意見を考慮しながら、答申を作成したいと考えます。
430	その他			PCがないと応えられない形式のアンケートになっている。	2	アンケートは、市内11箇所の支所及び生涯学習市民センター、市役所本館・別館、輝きプラザきらら2箇所に答申案等とともに配置し、回収箱、FAX、郵送等で受け付けました。
431	その他			答申案を元にアンケートを書いているが、もう決まっているのに意味があるのか。	1	このアンケートでいただいた市民の皆様のご意見を参考に、答申を作成します。
432	その他			アンケートで意見を聞きながら、説明会を要望しても開かなかったのはなぜか。	1	教育委員会で回答
433	その他			市長交代直後にこのような話が出るのは、市長や所属政党の意向が影響しているのでは。市長のコメントを聞きたい。	1	教育委員会で回答
434	その他			答申案の不備を補って再度審議会で議論を。	1	このアンケートでいただいた市民の皆様のご意見を参考に、審議会にて検討し答申を作成します。
435	その他			磯島小の取水口から村野浄水場までの導水管は経年劣化が進んでおり、そのそばにある小学校数校は、学校としても避難所としても不適當で改善が必要。	1	教育委員会で回答
436	その他			答申案を全部読んで項目別に答えるという、市民にとって負担の大きい方法にしたのはなぜか。	1	記述式でないと、答申(案)について幅広くご意見を伺うことができないと考えました。
437	その他			小学校区を上限つきの選択制にし、1学級あたりの児童数を調整する。	1	教育委員会で回答
438	その他			少数の指導の前にcmやmmが出てくると、キョウカシヨ自体に問題がある。	1	教育委員会で回答
439	その他			学校が近くにないと、子育て世代が住める活性した町にならない。	2	統合の検討にあたっては、新しい学校が適正な通学距離になることに留意しました。
440	その他			財政的・経営的・効率面だけで学校教育・教育環境・施設・設備等を考えて良いか	1	統合の検討にあたっては、児童生徒の教育条件の改善の視点を中心にすえながら、学校が地域の中で果たしている役割にも配慮していきます。
441	その他			市の「子育て世代を呼び込め、住める街づくりや教育施策の実施を市政の中心に考えて進めて欲しい。	11	教育委員会で回答
442	その他			教育にお金をかけないで子どもたちは育たない。	1	児童生徒の教育条件の改善の視点を中心にすえて、学校規模の適正化に取り組んでいます。
443	その他			答申の中でも小規模校は、デメリットだけでなくメリットもたくさんあると述べられているにもかかわらず、なぜ学級数だけで機械的に統合をはかるのですか。	2	小規模校には、確かにメリットもありますが、一方で、児童生徒が集団の中で一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校においては一定の集団規模が確保されていることが望ましいとされており、クラス替えが可能となる規模が求められています。
444	その他			児童生徒数が減っている今こそ、小中学校全学年の少人数学級の実現を。	9	教育委員会で回答
445	その他			一貫校や統合には反対です。伏見市長が公約した少人数学級を実現すれば統廃合はできないはず。まずは公約を守るべき。	1	教育委員会で回答
446	その他			30人学級は市長公約でしたので実現して下さい。	1	教育委員会で回答

N O	答申（案）該当部分			意見概要	件 数	審議会の考え方
	章	項目	頁			
447	その他			市長公約の30人学級を全校で実施してから統廃合は考えるべき。	5	教育委員会で回答
448	その他			伏見市長の少人数制の公約が守られるのであれば、単学級はならないはず。工夫をすれば、統合はしなくていいのではないかと。	2	教育委員会で回答
449	その他			諮問機関の適正規模の定義と、枚方市の学校定義については、説明責任があることでしょうか。市長が、今回の選挙で公約に挙げられていた学級編制を前提としたうえでの試算とするかは、今一度、提案を受けた枚方市としては、確認する必要がありますし、そこで変更となる点は反映させるべきかと思えます。	5	教育委員会で回答
450	その他			答申案と市長の市政改革の考えを連動させる必要がある。	1	教育委員会で回答
451	その他			生徒数が減少する時だからこそ、少人数学級の実現をめざすべきです。市長も公約で30人学級をかかげておられます。こうした子どもに手厚い施策こそ人口減少をくいとめるものだと思います。	2	教育委員会で回答
452	その他			小規模校と大規模校のメリット・デメリットはあるが、廃校・統合するメリット・デメリットがないのはあまりにも視野が狭すぎますので、廃校にするデメリットをよく精査し、市の方針とあっているのかを考慮してください。	1	児童生徒の教育条件の改善の視点を中心にすえて、学校規模の適正化に取り組んでいます。
453	その他			全小中学校が適正な校区になるよう現状を見てほしい。	1	教育委員会で回答
454	その他			規模の縮小に伴う集団活動における教育の難しさが課題として挙がる	1	教育委員会で回答
455	その他			いじめがひどくなるのでは。テストの日等帰宅時間もまちまちになり、父兄の見守り部隊はどうしたら良いのですか。	1	教育委員会で回答
456	その他			同様の統合案が何度も実現しないできたのは、提言が合理的でないからではないか。	1	教育委員会で回答
457	その他			数字など丁寧な説明がありますが、結論を納得させるものがありません。ただお金の節約しか頭にないのかなと思います。諮問された委員さんの民主的な討論があったのかなと思います。また、この場に現場の校長さんや教師がいることが必要だと思います。	1	子ども達の学習環境の整備・向上を目的に教育的な観点から答申案をまとめたものです。

合計 1225